

# 全般 1 か月予報

( 8 月 3 1 日から 9 月 3 0 日までの天候見通し )

令和元年 8 月 2 9 日  
気象庁 地球環境・海洋部発表

## < 特に注意を要する事項 >

東日本日本海側と西日本では、期間のはじめは降水量が多く、日照時間の少ない状態が続く所がある見込みです。東日本では、期間の前半は気温がかなり高くなる可能性があります。

## < 予想される向こう 1 か月の天候 >

向こう 1 か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

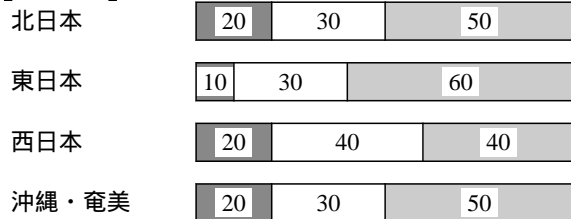
北日本日本海側では天気は数日の周期で変わってでしょう。北日本太平洋側では、天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。東日本太平洋側では、天気は数日の周期で変わってでしょう。東・西日本日本海側では、天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。西日本太平洋側では平年と同様に晴れの日が多いでしょう。沖縄・奄美では、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。

向こう 1 か月の平均気温は、北日本と沖縄・奄美で高い確率 5 0 %、東日本で高い確率 6 0 %、西日本で平年並または高い確率ともに 4 0 %です。降水量は、北日本太平洋側と東・西日本日本海側で平年並または多い確率ともに 4 0 %、沖縄・奄美で平年並または少ない確率ともに 4 0 %です。日照時間は、北日本太平洋側と東・西日本日本海側で平年並または少ない確率ともに 4 0 %、沖縄・奄美で平年並または多い確率ともに 4 0 %です。

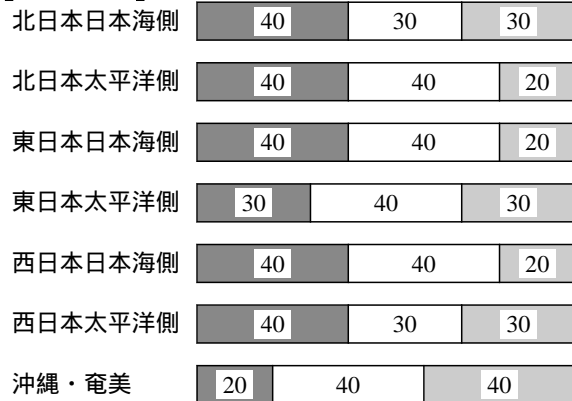
週別の気温は、1 週目は、北日本で平年並または高い確率ともに 4 0 %、東日本と沖縄・奄美で高い確率 5 0 %、西日本で平年並の確率 5 0 %です。2 週目は、北日本で高い確率 5 0 %、東日本で高い確率 6 0 %、西日本と沖縄・奄美で平年並または高い確率ともに 4 0 %です。3 ~ 4 週目は、北・東・西日本で平年並または高い確率ともに 4 0 %です。

## < 向こう 1 か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率 ( % ) >

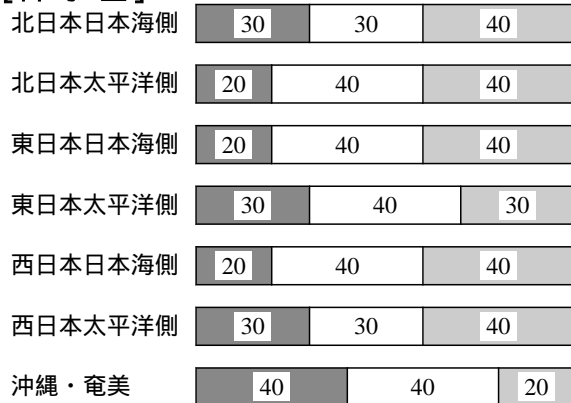
### [ 気 温 ]



### [ 日照時間 ]



### [ 降 水 量 ]

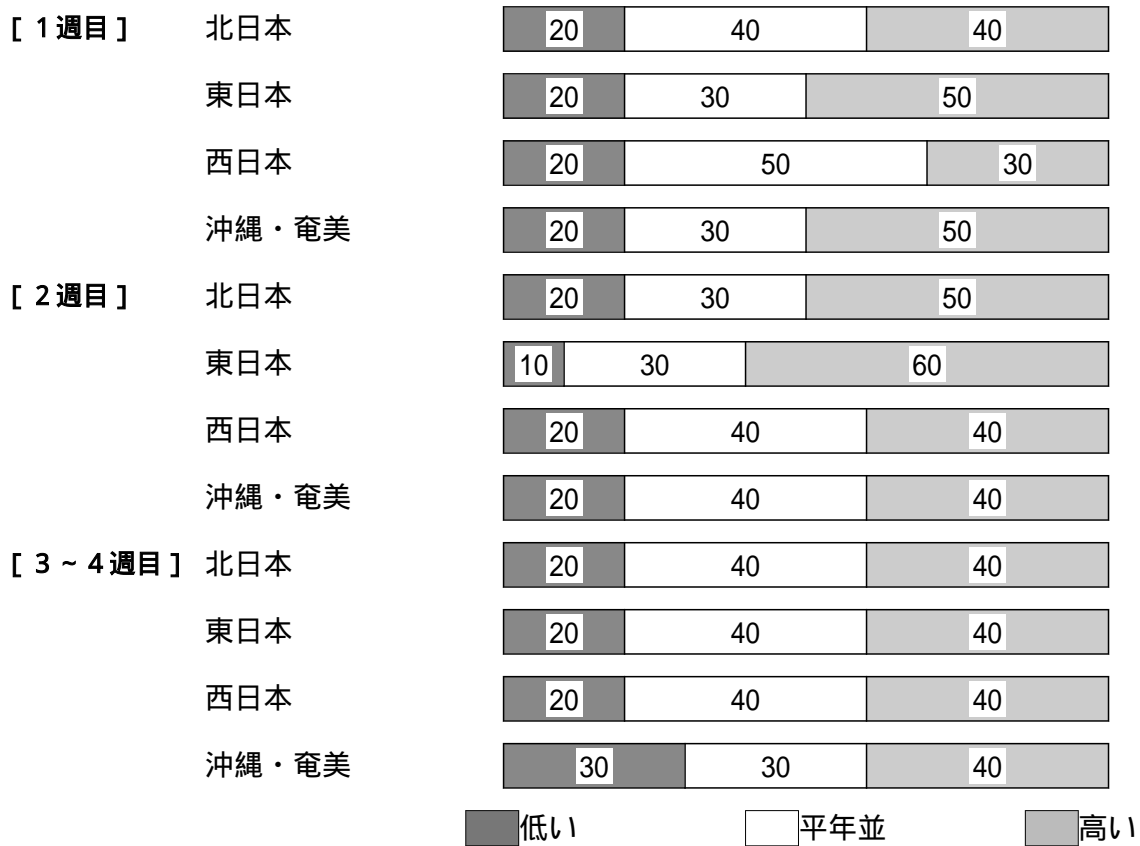


■ 低い(少ない)

□ 平年並

■ 高い(多い)

< 気温経過の各階級の確率 (%) >



< 予報の対象期間 >

1 か月 : 8月31日(土) ~ 9月30日(月)  
 1 週目 : 8月31日(土) ~ 9月6日(金)  
 2 週目 : 9月7日(土) ~ 9月13日(金)  
 3 ~ 4 週目 : 9月14日(土) ~ 9月27日(金)

< 次回発表予定等 >

1 か月予報 : 毎週木曜日 14時30分 次回は9月5日  
 3 か月予報 : 9月25日(水) 14時  
 寒候期予報 : 9月25日(水) 14時

### < 参考資料（平年並の範囲） >

(1) 1981～2010年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量などの平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差( )		降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
北日本	-0.4～+0.4	日本海側	85～115	95～106
		太平洋側	84～112	94～108
東日本	-0.3～+0.5	日本海側	79～117	94～106
		太平洋側	80～115	94～105
西日本	-0.4～+0.4	日本海側	79～113	95～105
		太平洋側	71～122	93～104
沖縄・奄美	-0.1～+0.2		77～106	94～107

(2) この予報期間の1週目、2週目、3～4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3～4週目
北日本	-0.5～+0.7	-0.6～+0.7	-0.4～+0.4
東日本	-0.4～+0.7	-0.5～+0.8	-0.7～+0.5
西日本	-0.3～+0.6	-0.4～+0.6	-0.4～+0.4
沖縄・奄美	-0.2～+0.2	-0.1～+0.4	-0.1～+0.3

### < 参考資料（利用上の注意） >

- (1) 気温（降水量）等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1981～2010年の30年間における各階級の出現率が等分（それぞれ33%）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。
- (2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30%、40%）の確率しか付けられません。
- (3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の2分の1より多い（少ない）ことを意味します。